

2020年（会報第28号）

# 山行記録



新津ハイキングクラブ

## ■表紙について

表紙は会山行「コース27立山」の雄山3,003m五の越でのスナップショットです。写真は山頂直下の四の越付近で足元に注意しながら下山する皆さん。残雪、これから歩く室堂平までの登山道と大日岳。立山連峰の背から朝陽が昇り、山姿のシルエットが美しかった。また、朝もやの冷たく爽やかな空気を体感しました。

## ■糸魚川の翡翠について

私の出身地糸魚川は翡翠の産地として知られています。

約5500年前の縄文時代中期に縄文人が糸魚川で翡翠の加工を始めたと言われ、日本各地の遺跡から出土した翡翠はほとんどが糸魚川産だと言われています。

糸魚川市を流れる姫川の支流・小滝川に翡翠峡があり、そこには翡翠の原石が多くあります。(小滝川ヒスイ峡での岩石の採取はもちろん禁止されています)小滝川から流れ出た翡翠



は長い年月をかけて海岸へとたどり着きます。糸魚川市内の砂利浜(翡翠の見つかる場所は何ヵ所かあります)では散歩がてら翡翠を探している人を時々見かけます。

古来より身につけていると、魔除け・厄除けになると共に幸運を招くと言われて、装飾・装身として愛用されてきた翡翠。

地元の人なら誰でも知っている奴奈川姫(ぬながわひめ)。



伝説では翡翠の勾玉を身につけ靈力を発揮して統治していて、とても賢く美しかった。その噂は遠く出雲の国にまで聞こえ、出雲の国の大国主命の求愛を受け結婚しましたが、後に不仲となり、最後は糸魚川の稚児ヶ池に身を投げたといわれています。糸魚川市内には複数の奴奈川姫の銅像が立っています。

数年前、フォッサマグナミュージアムを訪れた際、職員がペンライトの光を直接翡翠に当て、光を通すのが本物で偽物は光を通さないと実演して見せてくれました。

糸魚川市には雨飾山、白馬岳等の登山口や朝日岳・雪倉岳への親不知からの梅海新道。青海黒姫山、明星山などの地元の山がありますが、地元には登山とは無関係だったのであまり良く知らないというのが現状ですが、地元になんだ山行を試してみたいものです。

—地元資料等参考—

1606 K/H

